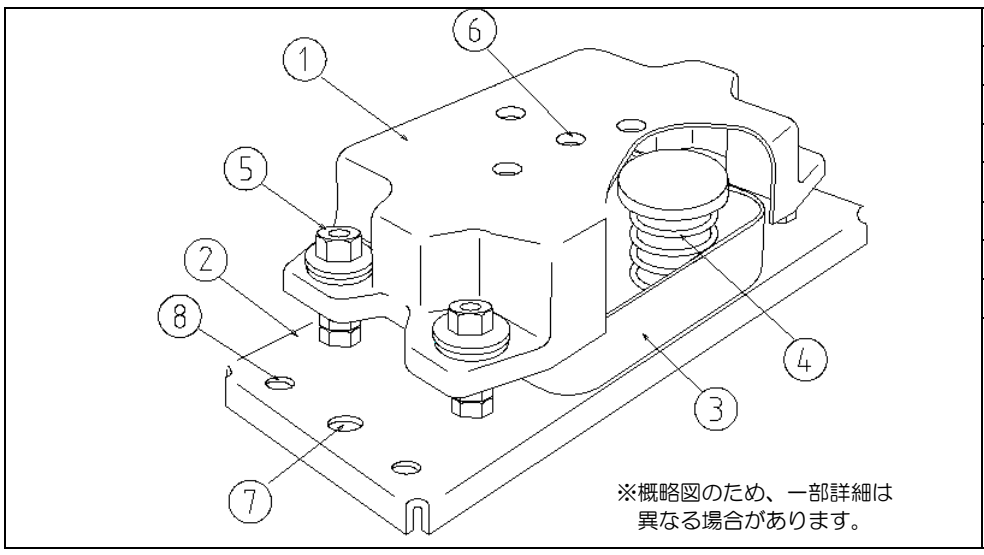
クラシキ　ボックス形防振ユニット　取扱説明書

この度は弊社防振ユニットをご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みくださり、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

据付の前に

- ダンボール箱より取り出してください。
- 製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 付属品（ボルト・ナット類）をご確認ください。
- 製品の外形形状および付属品詳細は、納入仕様書にてご確認ください。
- 基礎ボルトは付属しておりません。お客様にてご用意ください。



①	架台
②	ベース
③	樹脂ケース
④	アイソレーター
⑤	耐震ストッパー
⑥	取付ボルト用穴
⑦	基礎ボルト用穴
⑧	H鋼取付用穴

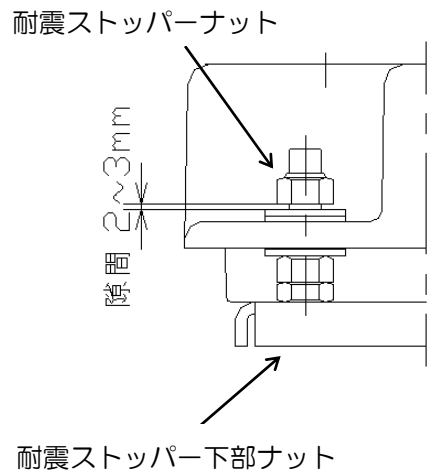
付属品
　取付ボルト
　座金類
　ナット類

※付属品詳細は仕様書をご確認下さい。

防振ユニット及び機器の据付

コンクリート基礎を防振ユニット底面と密着するように水平かつ平滑に仕上げたのち、次の手順にて防振ユニットの据付を行ってください。
なお防振ユニットは、出荷時にあらかじめ予圧縮しております。
機器を据え付ける前に耐震ボルトセット上部のナットを緩める等の行為は絶対に行わないでください。
架台内部のばね反発力により、ケーシングが飛び出し非常に危険で事故の原因となりかねません。

機器脚部の剛性が不足している場合や、小型冷却塔などで脚が斜めに出ている場合は、共通架台を介したうえで防振ユニットを設置してください。



- 防振ユニットを所定の位置に並べ、基礎ボルトにて仮固定してください。
  特に配置図がある場合は、その配置寸法に従って作業を行ってください。
  防振ユニットが配管やケーブルと干渉する場合、基礎配置図に対して90°回転させても使用しても問題ありません。
  基礎ボルトについては耐震基準に応じた施工を行ってください。
  このときコンクリート基礎据付面に若干の凹凸がある場合は、モルタル等にて修正ください。
- 架台表面に加工された機器取付穴のうち、使用する取付穴のねじ穴シールを剥がしてください。
- 並べられた防振ユニットの上に、ゆっくりと機器を搭載してください。
  このとき同時にジャッキ等にて機器全体を受けながら作業を行ってください。
  機器取付けボルトを仮固定してください。
- 仮固定後に機器が傾き、①架台が⑤耐震ストッパー下部ナットへ底付きしている場合、調整が必要となります。
  移動調整用の防振ユニットを底付きしている側に移動させて高さ調整を行ってください。
  移動作業は、全体を一旦ジャッキアップしたのちに慎重に行ってください。
- 機器の水平が出たことを確認の後、各基礎ボルトをしっかりと締め付け固定してください。さらに機器と防振ユニット間の機器取付ボルトをしっかりと固定してください。
- 最後に全ての防振ユニット耐震ボルトセットの緩み止めナット下部隙間を２～３mmに調整してください。
  耐震ボルトと本体カバーが接触していないことを確認してください。接触したままだと防振効果が十分に発揮されません。

配管との接続時注意事項

〇配管の接続・固定は、防振ユニットの揺れによる変位を十分に吸収することが出来る工法にて施工ください。
詳しくは機器の施工要領書を参照してください。

〇配管等の重量は防振ユニット設計に含まれておりません。
防振ユニットに無理な力が加わらないよう十分にサポートしてください。

〇溶接作業を行う場合は、火花が当たらないよう十分に対策してから作業してください。

ご注意

※　廃棄する場合は本体ゴム部：産業廃棄物、その他：リサイクル鉄材又はリサイクル樹脂材としてください。
※　作業時の安全確保には十分な配慮をお願い致します。
※　予告無く本体の構造等を一部変更することがあります。

倉敷化工株式会社 産業機器事業部
http://www.kuraka.co.jp/sanki/
〒712―8555　岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630　TEL(086)465-1715(代)

10113140E(2021.06)